

## スマホとうまく付き合っていますか？

先日からスマホ(パソコンやタブレット端末、ゲーム機など、インターネットに接続できる機器を含みます)にかかわるトラブルが何度も起きています。といっても、スマホ自身には罪はありません。スマホの使い方を間違えているのです。直接、顔をつきあわせたら言えないことを書き込んだり、ウソの情報を流したりすることで、誰かを不安にさせたり、むやみに心配させたりすることがあるようです。スマホ使用によるトラブルは、その所持の低年齢化にともない、最近では小学校でも発生しているようです。現在、スマホ等を持っている人は、今一度、使用方法内容について省みてはどうでしょう。人を傷つけたり、不安にさせたり、迷惑をかけたりといった使い方をしてしまうような人には、いくら便利なものであってもスマホを使用する資格はありません。きちんと社会常識やネットモラルが身につくまで、スマホは持たないようにすべきでしょう。



### ～保護者の皆様へ～

ライン、タイムライン、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム…。今、子どもたちはスマホなどでSNSを使いこなしています。これにともないこれまでにはなかったようなトラブルも発生するようになりました。ただ、現実の世界であろうが、仮想現実の世界であろうが、いけないものはいけないと判断せざるを得ません。SNSによる被害や加害については、マスコミでこれまでもよく言われてきました。ネットいじめを初めとして、援助交際、リベンジポルノ、インターネット詐欺などなど、世間を騒がせてきたのは周知の事実です。これは、自分の欲望を満たすことしか頭になく、人への思いやりに欠ける行為です。つまり、人間として未熟な者の行為だと考えられます。しかし、こういったことと自分のお子さんが無関係だとは言ってられない現実があります。そして、「被害にさえ遭わなければ・・・」と、その現実に関心ではいけないとも考えています。「被害がないように」というのはもちろん、「加害者にならない」「他人に迷惑をかけてはいけない」という面でも、スマホの所持やその使用方法について、各ご家庭で考えて

いただきたいと思います。「迷惑をかける」ことがあるということは、かけられる人がいるということです。そういったことも十分に考えてご指導をお願いします。

現在、この学年のどのくらいの生徒がスマホを持っているのかはわかりませんが、中学生にスマホを与えるのは保護者の皆様です。中学1年生はまだ未熟で、世間の常識やネットモラルに通じていない者が多く、スマホの利便さや使いやすさから、つい自分の思ったように使いがちです。そこでは、相手のことに思いがいたらず、誰かに迷惑をかけても気づかないこともたくさんあるでしょう。

多くのご家庭ではやっていたらいいとは思いますが、今一度、使う時間や場所を決めたり、使い方や内容を確認できるようにしたりといったルールを決め、ぜひマナー等のお話をしてあげてください。それが、スマホを与えた親としての責任を果たすことであり、お子さんを守ることに繋がると考えます。

いろいろな形のネットいじめや嫌がらせ、脅迫まがいのやり取りなど、生徒間のスマホによるトラブルは、私たち大人の見えにくいところで起きています。保護者の皆様にはそのことを十分にご理解いただき、子どもたちのために行動していただけるようお願いいたします。

※SNS：ソーシャルネットワーキングサービス。インターネット上でやりとりができるサービス。全世界に開かれている。



### ～掃除から見えること！～

掃除をきちんとするのに能力は要りません。スポーツをする場合には、運動能力や身体能力、精神面の強さなどがある程度必要でしょう。勉強をする場合にもそういうことがいえるかもしれません。しかし、掃除は違います。「きれいにしよう！」という気持ちさえあれば、だれでもできます。それだけに、掃除にはその人の“人柄”や“性格”が見えてきます。実際、みんなの掃除の様子を見てみると、感心させられるような人もいますが、残念な人も少なからずいます。担当の仕事が終わると「終わった」と言ってその他のことはしない人。ほうきを持ってはいるのだけど…。ぞうきんは持っているのだけど…。サボってやろうとか、まるっきり遊んでやろうとかっていう人はあまり見かけませんが、「担当の場所をきれいにしよう」という気持ちがあまり感じられない人がいます。掃除によって見えてくる“人柄”や“性格”は、先生たちに見えるだけではありません。当然、周りの人たちにも見えます。だれに見られても恥ずかしくない“人柄”や“性格”が表れるといいですね。